



## 南葵音楽文庫ミニレクチャー

### 南葵音楽文庫で学ぶ西洋音楽史 (5) ルネサンス期の音楽 「ミサ曲の発展」 ～祈りと遊びの間で～

佐々木 勉  
2019年8月4日  
和歌山県立図書館南葵音楽文庫閲覧室



南葵音楽文庫  
和歌山県立図書館内  
和歌山市西高松 1-7-38  
tel.073-436-9500  
https://www.lib.wakayama-  
c.ed.jp/nanki/

#### 南葵音楽文庫が所蔵する「ミサ曲」に関連する参考文献

- Geschichte der katholischen Kirchenmusik, heraus.v., K.G.Fellerer,  
Vol. I 1972, Vol. II 1976, 765.02 GE1
- G.Reese, Music in the Renaissance, 1959 762.05 RE
- The New Oxford History of Music, vol.III "Ars Nova and Renaissance 1300-1540", 1960 762 NE3
- The New Oxford History of Music, vol.IV "Humanism 1540-1630", 1968  
762 NE4
- 野村良雄 『宗教音楽の歩み』 1963 765.02 ノム
- 皆川達夫 『合唱音楽の歴史』 1965 767.4 ミナ
- 皆川達夫 『中世ルネサンスの音楽』 1977 762.04 ミナ

#### 「ミサ曲」とは？

- ① 西洋音楽史におけるルネサンス期を代表する曲種。
- ② カトリック教会のミサの典礼の5つの共通文（キリエ、グロリア、クレド、サンクトゥス、アニュス・デイ）を歌詞として5つ（あるいはサンクトゥスの後半のベネディクトゥスを独立した楽章として6つ）の楽章から構成された、「音乐的に統一された」ひとまとまりの作品。
- ③ 典礼上は必要のない音楽形態 → 祈りよりも音楽家の創作意欲が優先
- ④ 「音乐的に統一する」技法は、時代によって異なる。ルネサンス期は、各楽章に共通した定旋律や冒頭動機を使うことによる（循環ミサ曲）。
- ⑤ 14世紀中頃に歴史に登場し、今日に至るまで創作され続けている。
- ⑥ 本来的には、ミサの典礼で用いるための作品であるが、演奏会で観賞用に演奏されることも多い。

#### 「ミサ」の構成

歌われるもの

1. 入祭唱 Introitus
2. キリエ Kyrie
3. グロリア Gloria
6. 昇階唱 Graduale
7. アレルヤ唱 Alleluia (あるいは詠唱 Tractusと続唱 Sequentia)
9. クレド Credo
10. 奉献唱 Offertorium
12. 叙唱 Prefatio
13. サンクトゥス Sanctus
15. 主の祈り Pater noster
16. アニュス・デイ Agnus Dei
17. 聖体拝領唱 Communio
19. イテ・ミサ・エスト Ite missa es  
(あるいはベネディカムス・ドミノ Benedicamus Domino)

唱えられるもの

4. 集祷文 Oratio
5. 使徒書簡 Epistola
8. 福音書 Evangelium
11. 奉献祈願 Secreta
14. ミサ典文 Canon missae
18. 聖体拝領後の祈り Postcommunio

下線赤文字 = 通常文（共通文） Ordinarium  
その他 = 固有文 Proprium

## ミサ共通文

### 2.キリエ あわれみの賛歌

Kyrie eleison  
Christe eleison  
Kyrie eleison

主よ、あわれんで下さい。  
キリストよ、あわれんで下さい。  
主よ、あわれんで下さい。

### 3.グロリア 栄光の賛歌

Gloria in excelsis Deo.  
Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.  
Laudamus te. Benedicamus te.  
Adoramus te. Glorificamus te.  
Gratias agimus tibi  
propter magnam gloriam tuam.  
Domine Deus, Rex caelestis,  
Deus Pater omnipotens.  
Domine Fili unigenite Iesu Christe.  
Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.  
Qui tollis peccata mundi,  
miserere nobis.  
Qui tollis peccata mundi,  
suscipe deprecationem nostram.  
Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.  
Quoniam tu solus sanctus.  
Tu solus Dominus.  
Tu solus Altissimus,  
Iesu Christe.  
Cum Sancto Spiritu, in gloria Dei Patris. Amen.

いと高き天では、神に栄光がありますように。  
そして地上では、善意の人に平和がありますように。  
私たちは、あなたをほめ、祝福します。  
私たちは、あなたを崇拜し、栄光をたたえます。  
私たちは、あなたに感謝します、  
なぜなら、あなたの栄光が偉大だからです。  
神なる主、天の王、  
全能の父である神よ。  
主である、ひとり子、イエス・キリストよ。  
神なる主、神の子羊、父の御子、  
世の罪を除いて下さる方よ、  
私たちをあわれんで下さい。  
世の罪を除いて下さる方よ、  
私たちの願いを聞いて下さい。  
父の右に座る方よ、私たちをあわれんで下さい。  
なぜなら、あなただけが聖であり、  
あなただけが主であり、  
あなただけがいと高き方だからです、  
イエス・キリストよ。  
聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに。アーメン。

### 9.クレド 信仰宣言

Credo in unum Deum,  
Patrem omnipotentem, factorem caeli et terrae,  
visibilium omnium et invisibilium.  
Et in unum Dominum,  
Iesum Christum, Filium Dei unigenitum.  
Et ex Patre natum ante omnia saecula.  
Deum de Deo, lumen de lumine,  
Deum verum de Deo vero.  
Genitum, non factum, consubstantialem Patri :  
per quem omnia facta sunt.  
Qui propter nos homines,  
et propter nostram salutem descendit de caelis.  
Et incarnatus est de Spiritu Sancto  
ex Maria Virgine : Et homo factus est.  
Crucifixus etiam pro nobis : sub Pontio Pilato :  
passus, et sepultus est.  
Et resurrexit tertia die, secundum Scripturas.  
Et ascendit in caelum : sedet ad dexteram Patris.  
Et iterum venturus est cum gloria,  
iudicare vivos et mortuos :  
cuius regni non erit finis.  
Et in Spiritum Sanctum, Dominum,  
et vivificantem :  
qui ex Patre Filioque procedit.  
Qui cum Patre et Filio simul adoratur,  
et conglorificatur :  
qui locutus est per Prophetas.  
Et unam sanctam catholicam  
et apostolicam Ecclesiam.  
Confiteor unum baptisma  
in remissionem peccatorum.  
Et exspecto resurrectionem mortuorum.  
Et vitam venturi saeculi. Amen.

私は、唯一の神を信じます、  
全能の父、天と地、見ることができるもの、  
見ることができないもの、すべての造り主を。  
また私は、唯一の主を信じます、  
神のひとり子、イエス・キリストを。  
主はすべて、世の先に父より生まれました。  
神よりの神、光よりの光です。  
まことの神よりのまことの神です。  
[主は] 造られることなくして生まれ、父と一体です。  
すべては主によって造られました。  
主は、私たち人類のために、  
また私たちの救いのために天より下りました。  
そして聖霊によって  
処女マリアより御からだを受け、人となりました。  
ポンテオ・ピラトのもとで私たちのために  
十字架につけられ、苦しみを受け、葬られました。  
そして聖書にあるように、三日目によみがえりました。  
そして天に昇り、父の右に座しました。  
主は、栄光のうちに再び来て、  
生きる人と死者とを裁きます。  
主の国は、終わることがありません。  
私は、主なる聖霊、  
生命の与え主を信じます。  
聖霊は、父と子から出て、  
父と子とともに拝み、  
あがめられ、  
また預言者を通じて語りました。  
また私は、一にして聖・公・  
使徒継承の教会を信じ、  
罪の赦しのためである唯一の  
洗礼を認め、  
死者のよみがえりと  
来世の生命とを待ち望みます。アーメン。

### 13.サンクトゥス 感謝の賛歌

Sanctus, Sanctus, Sanctus  
 Dominus Deus Sabaoth.  
 Pleni sunt caeli et terra gloria tua.  
 Hosanna in excelsis.  
 Benedictus qui venit in nomine Domini.  
 Hosanna in excelsis.

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、  
 万軍の神である主。  
 主の栄光は、天地に満ちあふれます。  
 天のいと高きところにホザンナ。  
 主の御名によって来る方に、祝福がありますように。  
 天のいと高きところにホザンナ。

### 16.アニュス・デイ 平和の賛歌

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi :  
 miserere nobis.  
 Agnus Dei, qui tollis peccata mundi :  
 dona nobis pacem.

神の小羊、世の罪を除いて下さる主よ、  
 私たちをあわれんで下さい。  
 神の小羊、世の罪を除いて下さる主よ、  
 私たちに平安を与えて下さい。

### ミサ曲 (循環ミサ曲) の実例

ギヨーム・デュファイ Guillaume Dufay (1397~1474年)  
 《ミサ「もしも顔が青いなら」 Missa "Se la face ay pale" 》

#### デュファイ シャンソン《もしも顔が青いなら》

Se la face ay pa - le, La cau-se est a-mer, C'est la  
 Se ay pe-sante mal - le De deuil a por-ter, Ceste a -  
 C'est la plus re - a - - le Qu'on puist re - garder, De s'a -  
 Se la face ay pa - le, La cause est a-mer, C'est la  
 Se ay pe-sante mal - le De deuil a por-ter, Ceste a -  
 C'est la plus re - a - - le Qu'on puist re - garder, De s'a -  
 Se la face ay pa - le, La cau - se est a mer, C'est

もしも私の顔が青いなら  
 それは恋をしているから。  
 本当にそうなのです。  
 こんなに苦しむくらいなら  
 愛に悩むくらいなら  
 海に溺れた方がよほどまし。  
 あ的美丽い人はご存知です、  
 私が虜になっていることを。  
 彼女なしでは  
 生きる喜びはありません。

© Monique Rio

冒頭動機

#### 《ミサ「もしも顔が青いなら」》からキリエの冒頭

定旋律  
 cantus firmus

Sopran  
 Ky - ri - e -  
 Alt / Tenor 1  
 Ky - ri - e -  
 Tenor 2  
 Ky - ri - e -  
 Bariton  
 Ky - ri - e -  
 7  
 s  
 e - lei - son. Ky - ri -  
 A/T 1  
 e - lei - son.  
 T 2  
 e - lei - son. Ky - ri -  
 Bar  
 e - lei - son.

© Fritz Brodersen